

第99号
秦野市民生委員児童委員協議会
発行人 熊澤道子
編集 広報部
連絡先
〒257-0054
秦野市線町16番3号
TEL 0463 (84) 7711

秦野市「民児協」と「社会福祉協議会」との関係について

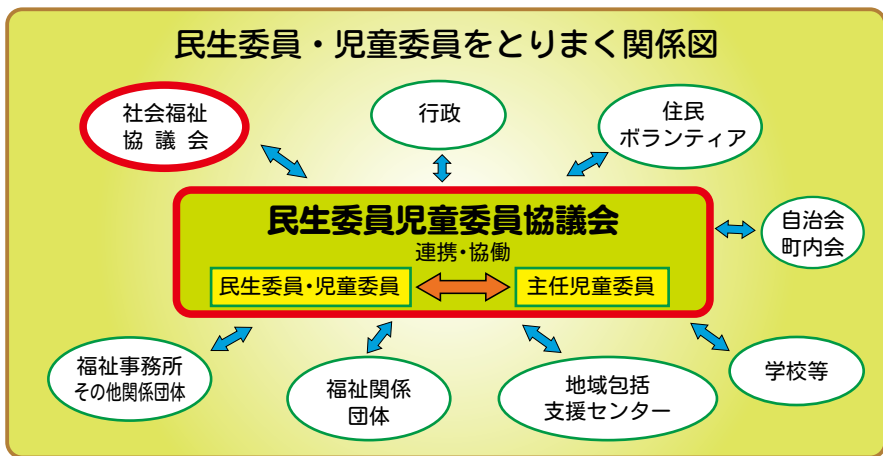
民児協広報部／市社協（記事応援）

「民児協」（民生委員児童委員協議会）は、「社会福祉協議会」と、活動上のつながりが多いにあります。民児協を取り巻く行政・各団体は主に下図のようになりますが、本稿では特に社会福祉協議会と民児協との関係について、調査・整理してみました。

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された民間の地域福祉推進組織です。略して「社協」と呼ばれています。

社協は、全国・都道府県・市町村に設置されている『社会福祉法人』で、地域の実情に合わせて活動を行うことから、業務内容や活動範囲は個々の社協で異なっていることです。

一方、地区社協は、住民の自主組織ですが、その活動については紙面の関係で、次号で紹介しします。



令和元年度版「民生委員児童委員活動の手引き」8ページの関係図を基に作成

社協の財源

社協の主な財源は、公費補助、市民からの会費、共同募金配分金、その他寄付金、事業収入などに支えられています。

「市民児協」と「市社協」の関係

秦野市民児協（市民児協と呼ぶ）

と、秦野市社会福祉協議会（市社協と呼ぶ）の主な関わりを紹介します。

① 市民児協の事務局

市町村の民児協事務局は、通常、行政内に置かれますが、秦野市では平成25年度から市社協内に置かれています。

神奈川県下では、秦野市のほかに、横須賀市・厚木市・開成町の3市町が同様に社協内に事務局が置かれています。

② 市民児協の運営をサポート

市社協は、市民児協の事務局として、会議の開催や経理事務、各地区定例会への出席などで、市民児協の運営をサポートしています。

③ 民児協は社協会員として加入

各地区民児協は、1地区5000円で、特別会員として加入しています。

また、民生児童委員は、一人につき1000円で、賛助会員として加入しています。会費は、秦野市の地

域福祉の推進に役立てられます。

④ 生活福祉資金貸付制度への協力

本貸付制度は、民生委員の「世帯更生運動」をルーツとして、昭和30年に創設されました。

以来、資金の貸付けによる経済的な援助にあわせて、地域の民生委員が、資金を借り受けた世帯の自立支援に協力しています。

⑤ 総合相談等への協力

市社協では、生活に困窮している世帯などに対する、福祉の総合相談窓口『きやっち。』を設置しています。

『きやっち。』の詳細については、『まなざし』第94号（特集記事）で紹介しましたので、参照をお願いします。

⑥ ボランティア相談

公的な制度・サービスでは支えきれない困りごとの解決では、民生児童委員をはじめボランティアの協力を求めています。

地域の絆づくりをめざす

少子高齢化が進み、ひとり暮らし世帯が急速に増える中で、地域がひとつの家族のように、「互いに支え合う、お互い様の関係づくり」、「地域のつながりづくり」が求められています。

市社協は、我々、民生児童委員をはじめとする、地域の人たちとの絆づくりを目指します。

民児協の活動自粛

3～6月は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、緊急事態宣言が発出され、全国の経済活動の自粛や学校休校など大きな影響を受けました。

秦野市では15名の感染者が発生しております。図書館やスポーツ施設や公園など公共施設の利用が禁止となり、水無川の遊歩道も桜の季節というのに人影がまばらでした。

市民児協も個別支援活動や各部会の活動や会議などが中止、延期となりました。5月の「秦野市民生委員児童委員協議会総会」も中止となり、総会議案は常任理事、理事の書面表決で、賛成30票、反対0票で可決された後、市民児協全員への書面表決により5月19日に、賛成244票、反対0票により可決されました。

この欄では総会の開催状況や写真を掲載する予定でしたがこのような報告となりました。

本年は、3年に1回の「秦野市在宅者ひとり暮らし高齢者等把握調査」の実施年でもあります。6月末現在実施要綱の説明や資料配布も行われていない状況です。

8月に「まなざし」が皆さんの手に届くころには、自粛ムードもかなり緩和され、民児協の活動も再開される事を願うばかりです。(7/9作成)

長い間ありがとうございました

退任の弁に代えて



東地区前会長 原 逸 夫

定年を迎えようとしている時に、突然民生委員児童委員を拜命いたしました。当初は、右も左も解らず先輩の皆様にご指導をいただき、緊張のなか、歩み始めたという記憶がよみがえって参ります。

以来、各種地域の活動に参加する事となり、福祉について徐々に理解を得ることができるようになり、民児協委員の責務の大きさを痛感致しました。

辞するにあたり一番気がかりなのは、やはり高齢者の方々の事であります。誰でも年々、年を重ねるとともに体力は落ちて参ります。そのよくな時、地域社会でお互いを支え合える社会づくりが大切と思われれます。今日、無事に任を終えることができ、関係皆様のご指導と、地域の皆様のご協力に深く感謝を申し上げます。筆をおくことといたします。

二期六年次に伝えたい



西地区前会長 相 田 弘 之

新米の時、会長から『民生委員は一国一城の主、お互い尊重し合い』との話があり、地域に一人だけの存在と悟りました。

地域を預かる責任と共に会の活動では地域の代表としてお互いを尊重して進めてください。

任期半ばで民生委員制度創設百周年を迎えたことも学びでした。

先達の道を振り返る時、社会の変化で生じる影の部分を追いつき、寄り添うことは民生委員の宿命と思えます。次なる百年の取り組みに意識して頂ければと願っております。

忘れられない不測の事態は会長の途中退任に直面した事です。副会長として対応に当り、更に決意を固め会長を引き継ぎ、皆に押し越えた道、万感こもる任期満了です。無事次の世代に引き継げたのも仲間の支えがあつてこそ感謝・感謝です。

地域の人に支えられて



北地区前会長 北 村 良 夫

私は長い間、小学校の教師をしてきた関係で、常に子ども達から「若さ」をもらい、元氣溢れる中で過ごしてきました。

今回の民生委員依頼は、当初「家内」ということで依頼されましたが、最終的に、私を受けることになりました。対象の方々は人生経験豊富な高齢の方になるということで、私よりも先輩にどのように接したら良いか戸惑いましたが、訪問するご家庭が、昔お世話になった地域の方が殆どで、「○○さんの弟さん」と温かく迎えていただき、ホッとしました。同時に今後安心して生活して頂く支援は、どのようにしたら良いか、常に自問自答しながら、ある時は先輩に、ある時は市の担当者、ある時は同僚にと意見を伺い、難局を乗り越えてきました。今あるのは、地域の方に育てられた私です。「高齢者の皆さんどうぞお元気で、長生きを」

ハレノヒ保育園を訪ねて

東民児協

令和2年2月4日(火)に、開園して3年目を迎える名古屋バス停近くの、自然保育を目指すハレノヒ保育園を訪問しました。

保育園の職員と、朝の挨拶を交わした後、施設長の阿部さんの案内で施設と保育の様子を見学させていただきました。



説明に聞き入って

今回は、3〜6歳児が生活する園舎を中心に、見学させていただきました。室内は、バリアフリーの床、白で統一されたトイレまでも見ることができ、オープンスペースの一つの空間です。天窓と側面のガラス窓から、多くの自然光を取り入れるように工夫されています。天窓の下には、大きなガジュマルが育っていることに、驚きました。

この保育園のこだわりの場面を、見学の途中で観ることができました。保育士さんが洗い場で、園児の身体をタオルで拭いていました。園児が不快を感じ、保育士に布おむつ

の取り換えを、求めた行動だと説明されました。

この乳幼児期に、「快・不快」をきちんと感じる感覚を育てるのに大切な時期と捉え、その一つの方法として、布おむつを使用していると話され、起きて活動をするときには、布パンツに着替えていると、付け加えがありました。

3歳児の園児が、調理室の窓を開け、「今日は、何を作っているの?」調理師さんは、「美味しいのができるからね、待っていてね」と返していました。園児は、給食を楽しみにしているようです。

ハレノヒ保育園では、「元気な身体を育てるには食事が大切」との考えから、「薄味の和食を中心とした献立で、安全で安心な食材を使い、園児が手で掴みとって、口に入れることができる大きさに、カットされた食事を出すようにしている」と話され、補足として、手で掴んで噛む感触や食感の違いを指先で感じ取り、五感を育て、指先で様々に感じ取ることは、脳の発達に結びつくこと、ハレノヒ保育園の考え方も話されました。

研修を終えて、保育園を失礼する時刻に、野外活動から帰ってきた園児の声が、小高い丘の向こうから聞こえてきました。

合言葉は

『子どもたちの笑顔のために!』

南民児協

「南キッズクラブ子ども会」は、令和元年5月に南公民館の支援を得て発足した会です。南小学校へ通う子ども会のない地域の子どもを対象に、様々な遊びや体験学習を通して異学年交流を図り、共に成長していくという目的で作られました。

この会は、5月から翌年の2月まで、年4回行われている南子連みなつれんの活動に加えて、ゲーム・工作・料理・キャンプなど、独自の活動を5回行っています。

南子連会長の竹内さんをはじめ、南地区育成部会の甲斐さん、青少年指導員の堂田さんと竹川さんが中心になって活動されています。

発足当初はわずか3名の会員でしたが、友達の輪が広がり、現在の会員は14名になりました。スタッフの方々も子どもたちから元気をもらっているそうです。保護者からも感謝の手紙が届き、やりがいを感じていると話しておられました。

異学年だけでなく、同学年でも子どもたち同士の交流が減っている中、「南キッズクラブ子ども会」の取り組みは、いろいろなことを体験した



みんなで楽しくバルーンアート!

り、学んだりできる貴重な場であると共に、子どもたちにとって忘れられない心に残る良い思い出になることでしょう。

子どもたちの為に、一生懸命に活動をしていらつしゃる皆さんにエールを送りたいものです。現在、スタッフ、会員登録集中です。子どもたちの笑顔の輪がさらに広がることを願っています。

令和2年度行事予定

- ★5月16日(土)「中止」
歓迎会とゲーム大会
保護者説明会
- ★7月4日(土)
ミニ工作
- ★11月1日(日)
おもいも料理と工作
- ★12月6日(日)
クリスマス会
- ★令和3年2月13日(土)
お別れ会とゲーム大会

湧水

私たちの活動

東・北地域
高齢者支援センター

私たち東・北地域高齢者支援センターは、一般社団法人秦野伊勢原医師会に所属し、秦野市から業務委託を受け、地域内の65歳以上の高齢者の相談機関としての機能を担っています。



東・北地域高齢者支援センター

職員は、主任介護支援専門員1名、社会福祉士3名、保健師1名、看護師2名、実態把握担当2名の計9名が勤務しています。場所はカルチャークの川向いにある「休日夜間急患診療所」と同じ場所にあると言えピンとくる方も多いでしょうか。東地区、北地区は、丹沢から続く森林や農地が多く広がる自然豊かな地域です。また、東地区と北地区を貫く、新東名高速道路は、現在の建設が佳境に入っており、首都圏を結ぶ新たな交通網として、その完成が待たれるところであります。横野・戸川地区には、サービシエリアの建設も予定されており、地域の活性化が期待されます。

地域の拠点づくり

高齢化が急速に進むなか、介護保険サービスを利用する高齢者も年々増加しており、このままでは財源が破綻して、必要な方が必要な介護保険サービスを受けられなくなる可能性があります。自立している高齢者が、今後も自立した生活を継続できるように、既存の場所を活用して、高齢者自身が主体的に活動できるようにと、各自自治体が様々な取り組みを実施しています。その一つが、誰もが気軽に通うことのできる、地域の拠点づくりです。

東・北地域高齢者支援センターでは、令和元年年度東地区に1ヶ所(西田原)、北地区に2ヶ所(横野・戸川)の拠点づくりを支援させていただきました。



空き家の活用

令和元年4月10日に開始した横野の「はっちゃんサロン」は、空き家を活用して週1回実施しているサロンです。家主さん、自治会、民生児童委員、地域の福祉施設等の協力を頂き、地域住民を中心に毎回20名以上の方が参加され、さわやか体操、

各種出前講座、演奏会、障がい者の手作り作品や食品の販売など、毎回趣向を変えた様々な取り組みを行っています。顔見知りの人たちが週一回集まることで、お互いの見守り機能の役割も担っています。中には、毎週サロンまで歩いて通うことで、要介護認定から要支援認定に状態が改善した参加者もいます。

戸川(令和元年10月17日)ソレス(令和2年1月10日)田原の里)のサロンでは、いずれも高齢者介護施設の空きスペースをお借りして、さわやか体操などを実施しており、近隣の住民を中心に、歩いて通う参加者も多く見られます。



はっちゃんサロン活動風景

連携強化に向けて

私たちの日頃の活動において、民生児童委員の皆様のご協力は、必要不可欠であり、またとても心強く感じているところです。これからの顔の見える関係の中で、民生児童委員の皆様との連携をより一層強化し、住みやすい地域づくりを目指して、共に歩んで行きたいと思えます。



ハイビスカス
花言葉は「繊細な美」「新しい恋」名前はエジプトの美の神である「Hibis」にちなんでつけられた。

オオルリ
4月ごろ東南アジアから渡ってくる。姿も声も美しい。(ヤビツ峠で撮影)



編集後記

多くの方が「三密を避ける」生活を送る中で、通常とは違うストレスが増しているとのこと。我が家においては、気が付くと体重計が信用できなくなっていました。

運動不足かと思いい、一年半ぶりに「くずの泉」を訪れてみました。まだ梅雨が明けない時期のせいもあってか、付近は雨のカーテンと静寂に包まれていました。

このひとりで、私の体重が変ることとはありませんでしたが、心身共にリフレッシュできたと感じました。皆さんも、森林セラピーを味わってみてはいかがでしょうか。(安居院)